

毎月11日は

防災を**考**える日



「自然災害伝承碑から学ぼう」

令和4年9月号

■自然災害伝承碑とは

過去に発生した地震、津波、洪水、土砂災害等の自然災害に関する災害の様相や被害の状況が記載されている石碑やモニュメントです。

自然災害伝承碑の所在地などの情報は、地理院地図に掲載されており、現在、気仙沼市内では12基が登録されています。過去の自然災害の教訓を知ることで、防災意識の向上に努めましょう。

<参考> 国土地理院ホームページ【自然災害伝承碑】

<https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi.html>



鹿折地区(東みなと町)

〔国土地理院ホームページ(自然災害伝承碑)を加工して作成〕

■防災基礎クイズ

Q 台風に関する情報には、「大きさ」と「強さ」がありますが、「強さ」は何で決まるでしょうか？

- ① 中心気圧 ② 中心付近の速度 ③ 中心付近の最大風速

毎月11日は「防災を考える日」です。

震災の教訓や災害への日頃の備えなどについて、家庭や学校、職場、地域などで話し合ってみましょう。

■問い合わせ先／気仙沼市総務部危機管理課防災安全係

☎ : 0226-22-3402 FAX : 0226-22-1467 E-mail:kikikanri@kesenuma.miyagi.jp



(答え: ③) (中心付近の最大風速)